



(うこん たかし)

右近 崇

所属 三菱UFJリサーチ &
コンサルティング株式会社
政策研究事業本部

資格 技術士一次試験合格

対象インフラ

道路

専門分野

交通インフラの経済分析

対応可能地域

主として中部地域（全国も要相談）

連絡先

takashi.ukon@murc.jp

※メール送付の際は「Σ」を「@」に変えて送信ください

相談方法

オンライン、対面、電話、メール

◆ 経歴・各種委員・講師経験など

2004年3月 鳥取大学大学院工学研究科社会開発システム工学専攻修了
2004年4月 株式会社UFJ総合研究所 入社
2006年1月 三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社(合併により社名変更)

※外部講師等経験

2020年1月17日 基調講演・パネルディスカッションコーディネーター(パネラー:県知事、
企業代表者、商工会議所会頭)、「新名神開通の経済効果セミナー」
(県・金融機関)

2016年8月29日 セミナー講演「新東名高速道路開通による経済効果」(商工会議所)

◆ 分析支援可能な知識・経験

【主な分析実績】

- ・ 道路整備ストック効果分析(東海環状自動車道、国道23号名豊道路、新東名高速道路 ほか)
- ・ 道路整備による経済波及効果分析[経済均衡モデル適用](東海環状自動車道、国道23号名豊道路、新名神高速道路、名古屋環状2号線 ほか)
- ・ 道路整備による交流人口変化に伴う観光消費の経済波及効果分析

【主な分析スキル】

- ・ 空間的応用一般均衡モデルなど経済均衡モデル分析(主にRAEM-Lightモデル)
- ・ 産業連関分析、地域間産業連関分析、ヘドニック分析、重力モデル ほか
- ・ アンケート調査、ヒアリング調査、統計データ分析

【これまでの経験をふまえたメッセージ】

- ・ 空間的応用一般均衡モデル等の政策評価ツールや各種定量的な分析手法を用いて、交通インフラ整備が地域・産業に及ぼす波及効果・影響の分析を専門分野としております。
- ・ インフラ整備の効果を示す定量的なアウトプットは、政策形成において有効な材料の一つとなります。しかしながら、万能なアプローチが存在するわけではなく、分析手法の選定や結果の解釈には慎重さが求められます。
- ・ そのため、定量的な分析に加えて、地域の将来ビジョンや発展戦略を踏まえ、インフラに期待する役割や政策目標との整合性を意識しながら、地域に発揮された効果、影響を多面的に捉えることが重要であると認識しています。
- ・ 地域固有の課題や可能性に寄り添いながら、より実効性の高い政策支援に貢献したいと考えています。

